

# 【 草津市の現状と課題 】

（第5次草津市総合計画第2期基本計画策定に向けた検討資料）

平成24年10月

草 津 市

## 【「草津市の現状と課題」における評価の算出方法】

### ◆目標達成度の評価

目標達成度	評価
76%～100%以上	A
51%～75%	B
26%～50%	C
0%～25%	D

※平成23年度の各基本方針ごとの目標達成度を平均して評価しています。

※目標達成度が100%以上の基本方針については、100%として計算しています。

### ◆市民意識調査結果、市民満足度の評価

市民満足度	評価
1.01～2.00	A
0.01～1.00	B
-1.01～0.00	C
-2.00～-1.00	D

※平成24年3月に実施した市民意識調査の結果を平均して評価しています。

※基本方針ごとの満足度についての調査結果から、「満足」を2ポイント、「やや満足」を1ポイント、「どちらとも言えない」を0ポイント、「やや不満」を-1ポイント、「不満」を-2ポイントとして平均値を算出したものです。

### ◆市民意識調査結果、市民重要度の評価

市民重要度	評価
1.01～2.00	A
0.01～1.00	B
-1.01～0.00	C
-2.00～-1.00	D

※平成24年3月に実施した市民意識調査の結果を平均して評価しています。

※基本方針ごとの重要度についての調査結果から、「そう思う」を2ポイント、「ややそう思う」を1ポイント、「どちらとも言えない」を0ポイント、「あまりそう思わない」を-1ポイント、「そう思わない」を-2ポイントとして平均値を算出したものです。

### ※市民意識調査について













調査目的 : 第5次草津市総合計画の進捗管理を行っていくため、計画期間中の各年度末での市民の意向を把握することを目的としたもの。

調査対象者 : 市民3,000人(18歳以上の市民を年齢、居住地域の2段階による層化無作為抽出)

回収状況 : 【H22年度】有効回答数949件、有効回答率31.6%  
【H23年度】有効回答数1,046件、有効回答率34.9%

草津市の現状と課題  
 (第5次草津市総合計画第2期基本計画策定に向けた検討資料)

※矢印は平成22年度数値との比較  
 評価区分変化なし  評価区分変化あり

「人」が輝くまちへ			平均目標達成度：89.5%		評価：A 	
			市民満足度：B 		市民重要度：B 	
No.	分野	基本構想に定める主要な取組み方向	第1期基本計画期間のうち、平成22年度・平成23年度における本市の状況推移、現状、主要な課題等	平成23年度目標達成度評価	平成23年度市民満足度評価(意識調査結果)	平成23年度市民重要度評価(意識調査結果)
1	人権	「ゆたかな草津 人権と平和を守る都市」宣言のもとに、一人ひとりの人権が尊重される平和社会の実現に向けて、同和問題をはじめとするあらゆる人権問題の解決を図るとともに、他文化共生社会へ向けた効果的な取組みを推進します。	人権セミナーや平和祈念フォーラムをはじめ、各種啓発事業などの取り組みにより人権意識の一定の高まりが見られるが、引き続き講座やイベントなどの参加者増加のための取り組みが必要である。 人権相談については、相談内容に応じて関係機関と連携し、適切に対応する必要がある。	89.6% ----- A 	B 	B 
2	男女共同参画	男女がともに社会の対等な構成員として、家庭や地域の中で一人ひとりが自らの個性を生かした人生を歩んでいける、男女共同参画社会の実現を図ります。	平成21年4月に施行した「草津市男女共同参画推進条例」の理念に基づき、平成22年3月に策定した「第3次草津市男女共同参画推進計画」を実現していくため、男女共同参画に関する啓発など、様々な施策に取り組んできた。 今後も審議会等への女性委員の積極的な登用を推進するとともに、次世代への意識向上に向けた啓発教育の充実など、女性が参画しやすい環境づくりを、市民団体等との協働により進めていく必要がある。	94.0% ----- A 	B 	B 
3	教育・青少年	地域社会との連携のもと、一人ひとりの子どもを守り育て、本市の将来を担う次世代が、自らの個性を伸ばして、確かな学力や豊かな人間性、しなやかでたくましい心と体など、人生を歩むための基礎・基本となる“生きる力”を身につけられるよう教育の充実を図ります。 青少年が、心豊かで健やかにたくましく成長できるよう、社会全体の中で青少年を温かく見守り、育成していきます。	小中学校の新学習指導要領実施導入に伴い、国語・英語・理数教育を柱とした学力向上プログラムに取り組むとともに、体験活動を推進した。 学校の耐震化を進め、平成23年度末までにすべての小中学校校舎、幼稚園園舎の耐震化を完了した。 子どもにかかわって、学校だけでは対応できない複雑なケースが増加している。	79.9% ----- A 	B 	A 

No.	分野	基本構想に定める主要な取組み方向	第1期基本計画期間のうち、平成22年度・平成23年度における本市の状況推移、現状、主要な課題等	平成23年度 目標達成度 評価	平成23年度 市民満足度評価 (意識調査結果)	平成23年度 市民重要度評価 (意識調査結果)
4	生涯学習・スポーツ	誰もが楽しく生きがいを感じ、生涯を通じて自己を高めることができるよう、学習できる環境を充実していきます。 家庭・地域・学校の連携のもとで行っている地域協働合校については、大学等との連携、地域に貢献できる人材の育成などを進めて、地域社会のますますの発展へと結びつけていきます。 市民が心身ともに健やかな生活をお送ることができるよう、誰もが自分の健康状態や年齢、体力に合わせたスポーツを楽しむことができる環境づくりを進めます。	地域の市民センター（公民館）での各種講座等の実施や、「立命館大学びわこ講座」、草津市ゆうゆうびとバンク等により、市民の生涯学習活動の支援に努めた。 地域協働合校として、学区・地区および小中学校で大人と子どもの協働による事業を実施した。企画段階から参加していただく工夫が必要である。	90.2% ----- A ⇓	B ⇓	B ⇓
5	市民文化	市民文化醸成の取り組みを軸としながら、これまで以上に人と人の出会いとふれあいを活発にすることで、「市民一人ひとりが「まちに対する愛着」や「草津市民であることの自負と誇り」を実感し、“ふるさと草津”を語るができる市民となっていけるようなまちづくりを進めていきます。 歴史資源の適切な保全と活用、伝統文化の継承を図るとともに、市民の芸術・文化活動の振興に努め、多彩で豊かな市民文化をさらに高めていきます。	「ふるさと草津の心」（シビック・プライド）の醸成に向けた取組みの一つとして、草津市の魅力を戦略的かつ効果的に発信するため、平成23年度に草津市シティセールス戦略プラン策定のための基礎調査報告をまとめた。事業の継続的な展開のための仕組みづくりを検討する必要がある。 平成21年度に策定した「（仮称）市民文化の森基本計画」は、しが県民芸術創造館の動向の見極めが必要であること、さらに計画施設2施設が他所へ移転したため、同計画の見直しが必要である。	100.0% ----- A ⇒	B ⇒	B ⇓

「安心」が得られるまちへ			平均目標達成度：74.5%		評価：B ⇓	
			市民満足度：B ⇓		市民重要度：A ⇓	
No.	分野	基本構想に定める主要な取組み方向	第1期基本計画期間のうち、平成22年度・平成23年度における本市の状況推移、現状、主要な課題等	平成23年度 目標達成度 評価	平成23年度 市民満足度評価 (意識調査結果)	平成23年度 市民重要度評価 (意識調査結果)
6	子ども・子育て	子どもの健やかな育ちを守るとともに、家族のあり方の変化に応じて多様化が進んでいる子育て支援のニーズに対応し、保育・在宅保育支援の充実を図っていきます。また、地域ぐるみの子ども・子育ての見守り・応援の取り組みを強めていきます。	待機児童の解消に向け、保育定員の増加や家庭的保育事業等を実施したが、保育需要が伸び、待機児童が増加しているため、更なる待機児童対策が必要である。 また、子育てに不安や負担を感じている子育て家庭が多い中、子育て支援センターや子育て応援サイトなど、子育て支援機能の充実を図っているが、一層の情報発信や関係団体との連携など、子ども・子育て支援の取り組みを推進する必要がある。	65.6% ----- B ⇓	B ⇓	A ⇓

No.	分野	基本構想に定める主要な取組み方向	第1期基本計画期間のうち、平成22年度・平成23年度における本市の状況推移、現状、主要な課題等	平成23年度 目標達成度 評価	平成23年度 市民満足度評価 (意識調査結果)	平成23年度 市民重要度評価 (意識調査結果)
7	長寿・生きがい	“元気で長生き”のための健康増進と介護予防の取り組みを充実させるとともに、高齢期における社会参加をいっそう進めていきます。また、介護保険制度の適切な運用、生活支援サービスや在宅介護サービスの充実などにより、高齢になっても安心して暮らすことができる地域づくりを進めます。	いきいき百歳体操や地域サロンは市域全体に広がりがあり高齢者の活動に活気が見られる。 高齢者人口の増加に比例し一人暮らし高齢者や高齢者のみの世帯が増加する中で、高齢者がいきいきと輝き、安心して暮らすことのできるまちづくりに向けて更なる仕組みづくりや支援が必要である。	100.0% ----- A ⇒	C ⇒	A ⇒
8	障害福祉	「障害のある人もない人も、誰もが生き生きと輝けるまち」を目指し、障害福祉サービス等の充実などによって生活の安心・安全を守ることを基本としながら、障害がある・ないにかかわらず、誰もが自らの意思によって自己実現を図ることができる地域社会づくりを進めていきます。	平成23年に障害者自立支援法が改正され、平成24年4月から支給決定プロセス等の見直しが行なわれた。また、平成25年4月から障害者総合支援法へと法体系が変更となることから、これに合わせた事業の実施が必要となる。 平成24年10月に障害者虐待防止法が施行されることから、マニュアル作成や啓発などの対応が必要となる。	39.3% ----- C ⇒	C ⇒	A ⇒
9	地域福祉	誰もが住み慣れた地域でその人らしく自立し、心豊かな生活を安心しておくことができるように、地域社会の様々な担い手の力を集めて、ともに生き、支え合う社会づくりを進めます。	地域には福祉の課題をはじめ様々な課題があり、また、多くの団体や人々が存在することから、「地域の課題は地域で解決する」ために、平成23年度に市社協へ2名の地域福祉コーディネーターを配置した。 今後は、市民コーディネーターの育成を図り、地域の活性化・地域福祉の推進を図る必要がある。	79.6% ----- A ⇒	B ⇒	B ⇒
10	健康・保険	市民の健康の保持増進、疾病の予防・早期発見・早期対応のため、健（検）診や健康教室、健康相談、訪問指導等の実施に努めるとともに、“健康づくり運動”をさらに進めることで市民一人ひとりの、自らによる健康づくりの取り組みが進むよう図っていきます。 医療保険制度等の適正な運用を行うほか、市民の健康が守れるよう、これまで以上に保険・医療・福祉の連携を強めていきます。	小児救急医療センターの休止もあり、草津市、栗東市で運営してきた湖南広域休日急病診療所の体制強化に向け、草津栗東医師会等に加えの守山野洲医師会等の協力のもと、平成24年度から4市での運営を行っている。診療体制の強化、充実のための望ましい初期救急医療体制の再構築が求められている。 医療保険制度の財政運営は厳しく、国による医療保険制度のあり方についての検討に注視する必要がある。	74.1% ----- B ⇒	B ⇒	A ⇒

No.	分野	基本構想に定める主要な取組み方向	第1期基本計画期間のうち、平成22年度・平成23年度における本市の状況推移、現状、主要な課題等	平成23年度 目標達成度 評価	平成23年度 市民満足度評価 (意識調査結果)	平成23年度 市民重要度評価 (意識調査結果)
11	生活安心	<p>様々な理由で生活困窮の状態にある人への相談の充実を図るとともに、セーフティネットの制度を適切に運用していきます。</p> <p>消費者・消費団体の育成・支援と消費者保護対策の充実、公衆衛生の向上などにより、市民の暮らしの安心確保を図っていきます。</p>	<p>今日の社会情勢から、生活困窮に陥る要因は多様化し生活保護受給者は増加の一途をたどっている。今後は、受給者の早期自立に向け、個々に応じた継続的な支援・指導と適正な制度運用が求められる。</p> <p>増加する『悪質商法』や新手法の『振り込め詐欺』などの消費生活侵害事犯に対応するため、消費生活相談員の技量の向上、法律の専門家や関係行政機関、庁内組織との連携を強化するとともに、市民が被害に遭わないよう消費者教育・啓発活動に取り組んでいる。</p>	86.8%	B ⇒	B ⇒
12	防犯・防災	<p>「危機管理」の考え方のもとで、地震や風水害などの自然災害、事故、感染症の流行などに備え、有事の際の適切な対策がとれるようにしていきます。</p> <p>災害時要援護者対策の充実などを含めて、地域ぐるみによる防犯・防災体制の強化などを図り、地域社会の安全・安心をよりいっそう高めていきます。</p> <p>まち全体の総合的な防災力を高めるため、市街地中心部の防災空間の確保や適正な土地利用の誘導を図るとともに、住宅をはじめ建築物や公共施設の耐震化を促進します。</p> <p>河川・排水路の適切な維持管理、天井川の平地化と浸水対策の促進、雨水幹線の整備等を進めます。</p>	<p>自主防災組織を対象に補助金交付や出前講座等を継続して実施している。災害時要援護者登録制度の普及啓発、市内一斉緊急放送システムの整備や防災行政無線のデジタル化による情報伝達体制の確立・強化を行った。</p> <p>東日本大震災を契機として、住民の防災意識の向上がみられ、各町内会や学区・地区のリーダーを中心に、災害対策・減災対策の取組み強化が図られている。その一方で、学区地区ごとの取組み状況に差が生じていることも現実としてあることから、市域全体のレベルアップが必要である。</p> <p>市内防犯灯の省電力化や一括集中整備を推進している。</p> <p>増加している自転車盗の削減が課題であり、一般市民に加えて民間駐輪場業者への盗難対策に関する普及啓発が必要である。</p>	79.3%	B ⇒	A ⇒



「心地よさ」が感じられるまちへ			平均目標達成度：94.3%		評価：A	
			市民満足度：B	市民重要度：B		
No.	分野	基本構想に定める主要な取組み方向	第1期基本計画期間のうち、平成22年度・平成23年度における本市の状況推移、現状、主要な課題等	平成23年度目標達成度評価	平成23年度市民満足度評価(意識調査結果)	平成23年度市民重要度評価(意識調査結果)
13	うるおい・景観	湖岸・河川空間などを保全・活用しながら緑化を推進し、まちのうるおいをつくっていきます。特に草津川廃川敷地については、まち全体の魅力をいっそう高める資源として捉え、周辺の歴史的な資源も含めた総合的な活用を図ります。 様々な市民の語りを通じて都市景観や農村景観の良好な形成と誘導を図り、暮らす人・訪れる人の誰もが快適で心地よいと感じるようなまちをつくっていきます。	平成22年度から草津川跡地利用基本構想の策定に向けた取組みを行い、平成23年度に策定した。また、平成23年度から基本構想の実現化を図るために、草津川跡地のより具体的な整備内容を検討するため、学識経験者や公募市民等で構成する検討委員会において、草津川跡地利用基本計画の策定に向けた取組みを進めている。 今後、草津川跡地に持続可能なにぎわい空間を創出するため、コミュニティづくりの場や市民活動の場とする仕組みづくりが必要である。また、実施設計・工事着手と取組むためには、近隣住民を含め多くの市民の理解をいただく必要がある。 地域の魅力を生かした良好な景観づくりのため草津市景観計画を策定するとともに、草津市景観条例を制定した。これらの計画・条例は平成24年10月に施行の予定である。	100.0%	B	B
14	環境	生物多様性の保全を重視して自然環境を守るとともに、地球環境との調和や循環型社会づくりについての学びを深めて、その知識と経験を将来の世代に確実に伝えていきます。 省エネルギーや新エネルギー活用をはじめ、環境負荷の低減に取り組む事業者等の拡大を図るとともに、市民自らの日常生活の見直しと環境にやさしいライフスタイルの実践ができる仕組みを整えます。 廃棄物の減量と適正処理によって省資源とリサイクルの推進を図るほか、環境美化や公害防止など生活環境の保全に努めます。	草津エコミュージアムについて、関係施設等の閉鎖や統廃合があり、さらに施設の閉鎖や統廃合が進むと事業継続が困難になるとともに、こども環境会議についても参加団体の減少につながる恐れがある。 新エネルギー対策事業として家庭用太陽光発電システムの設置費補助を行ってきたが、電力買取制度の導入等により設備の設置や市民意識が浸透してきたこともあり、平成22年度に補助を終了した。 平成23年10月からごみ分別区分を一部変更し、分別の徹底を図っている。ごみ袋は一定枚数の無償配布を行っている。 市内に最終処分場を持っておらず、埋立廃棄物の安定的処分には早急な整備が必要である。 新たな廃棄物処理施設を平成28年度中の稼働を目指し、準備業務を進めていく必要があるとともに、新施設整備までの間に現在の焼却処理施設の性能・能力維持が必要である。	87.8%	B	B

No.	分野	基本構想に定める主要な取組み方向	第1期基本計画期間のうち、平成22年度・平成23年度における本市の状況推移、現状、主要な課題等	平成23年度目標達成度評価	平成23年度市民満足度評価(意識調査結果)	平成23年度市民重要度評価(意識調査結果)
15	住宅・住生活	<p>住まいへの多様なニーズを受け止める、良質な住宅ストックによる良好な住環境の誘導を図り、これらの環境を将来に引き継いでいくとともに、市民が居住の場に困ることがないように支援します。</p> <p>市外からも親しみと憧れを集める本市の“まちなか”の魅力さをさらに高めるため、JR駅周辺の市街地の整備など、利便性の高い快適な暮らしを実現する基盤づくりを進めます。</p>	<p>平成23年度に草津市住宅マスタープラン、草津市市営住宅長寿命化計画を策定したことにより、今後10年間の改修計画等が定められた。</p> <p>中心市街地活性化に向けて、平成22年度に中心市街地再生計画(案)に対する検討を行い、平成23年度に、事業の具体化のためには法に基づく中心市街地活性化基本計画の策定が必要との結論に至り、策定に向けた取組を進めている。事業を具体的に進める「まちづくり会社」の設立や、「中心市街地活性化協議会」等の組織化を行い、着実な事業推進を行う必要がある。</p>	<p>100.0%</p> <hr/> <p>A ⇨</p>	B ⇨	B ⇨
16	上下水道	<p>安全で安定した水を供給するため、上水道の整備拡充と適切な維持管理を行います。</p> <p>家庭や事業所等からの汚水を確実に処理するため、下水道の整備拡充と適切な維持管理を行うとともに、水洗化を促進し、生活環境の向上と河川・琵琶湖の水質保全への寄与を図ります。</p>	<p>水道事業の現状分析と課題把握を行い、長期的な視点での経営戦略として「草津市水道ビジョン」を平成22年度に策定した。水道ビジョンに基づき、施設や管路の更新・耐震化と維持管理等を行い、そのフォローアップが必要である。</p> <p>公共下水道は、供用開始後30年を経過しており、老朽化施設の効率的な改築更新を行うため、平成22年度から長寿命化計画に取り組んでいる。長寿命化対策の推進と大地震に備えた耐震対策の推進も計画的に行う必要がある。</p>	<p>100.0%</p> <hr/> <p>A ⇨</p>	B ⇨	A ⇨
17	道路・交通	<p>自動車・自転車・歩行者などが、安全で快適に利用できる道路環境を充実させていくため、道路や交通安全施設の整備と適切な維持管理に努めるとともに、交通安全対策の充実を図ります。</p> <p>市内や市内外を結ぶ移動をさらに円滑なものとするため、公共交通を中心とする総合的な交通体系の充実を図っていきます。</p> <p>歩道の段差解消やわかりやすい案内表示等を行い、ハード面・ソフト面の両面からバリア(障壁)を無くし、誰にとっても安全で安心できる、快適なまちと社会をつくっていきます。</p>	<p>要望活動の結果、平成23年3月より、南草津駅への新快速の全便停車が実現した。</p> <p>公共交通空白地等の解消に向けてコミュニティバス(まめバス)の運行実験を継続している。路線や運賃について設定を変更しながら、平成25年度からの本格運行に向けた検討を行っている。路線の統廃合やダイヤ改正などの検討を行い、持続可能な形態を構築する必要がある。</p> <p>平成21年度に策定した草津市バリアフリー基本構想に基づき、重点整備地区内での施設や経路のバリアフリー化進捗管理を行っている。</p>	<p>93.8%</p> <hr/> <p>A ⇨</p>	C ⇨	A ⇨



「活気」があふれるまちへ			平均目標達成度：89.9%		評価：A	
			市民満足度：B		市民重要度：B	
No.	分野	基本構想に定める主要な取組み方向	第1期基本計画期間のうち、平成22年度・平成23年度における本市の状況推移、現状、主要な課題等	平成23年度目標達成度評価	平成23年度市民満足度評価(意識調査結果)	平成23年度市民重要度評価(意識調査結果)
18	農林水産	<p>地産地消など、地域の生産者と消費者を結びつけ、“顔の見える安心”や食育への寄与を大切にする農業の展開を促進するとともに、生産物の付加価値を高め、ブランド化を進めていきます。</p> <p>本市の農業が地域の環境を守る安定した産業として将来にわたって継続していけるよう努めるとともに、水産業や畜産業の振興を図ります。</p>	<p>平成23年度から本格実施された農業者戸別所得補償制度に対応するため、農業再生協議会を設置し、生産者の円滑な活用を図っている。</p> <p>国により推進されている人・農地プランによる農地の集積や担い手のあり方に対応していく必要がある。</p> <p>引き続き第6次産業化に向けた取組みを進めていく必要がある。</p>	90.6%	B	B
19	商工観光	<p>市民生活を支える地域の商店街の振興を図るとともに、既存商業などの集積を生かし、魅力と特色ある都市の商業空間づくりを進めます。</p> <p>産業の高度化と活力ある都市づくりのため、市内立地企業や大学とのネットワークのもとで、異業種交流や産学連携による新産業の創出等を促していきます。</p> <p>また、市内企業の振興に加えて、地域の資源を生かし、新たな活力をもたらす企業誘致に努めます。</p> <p>自然・歴史の資源だけでなく、まち・暮らし・産業など、本市の様々な資源を生かして、魅力ある観光の振興を図ります。</p> <p>働く人々が働きがいをもって生き生きとできるよう、勤労者福祉の向上を図るとともに、就労相談などの総合的な支援を行います。</p>	<p>平成20年度から実施している空き店舗対策事業と宿場街道景観形成事業が徐々に浸透しつつあるものの、中心市街地活性化基本計画との整合を図り、事業展開を図っていく必要がある。また、平成23年度から南草津駅周辺地域の商工業振興、地域コミュニティの醸成を目的に開催されている「みなくさま祭り」が今後も継続されるよう、支援していく必要がある。</p> <p>円高や東日本大震災の影響による電力供給に対する懸念等、企業を取り巻く厳しい環境が継続する中であって、企業誘致の促進と既存企業の空洞化の抑制や雇用の創出を図る制度の拡充が必要となってきた。</p> <p>東日本大震災の影響により、本市においても観光入込客数が減少したが、湖南地域の広域連携型観光ルートの開発など、新たな魅力をつくり、観光客誘致に取り組む必要がある。</p>	88.9%	B	B
20	コミュニティ・市民自治	<p>地域づくりの拠点として市民センター（公民館）などを積極的に活用して、町内会や学（地）区など地域コミュニティによる活動や市民の主体的なまちづくり活動を促進していきます。</p> <p>ボランティアやNPOの活動の場を拡げ、これら活動への市民の参加のための働きかけを充実させるとともに、地域コミュニティ活動との連携を図ります。</p> <p>まちづくりに関わる情報の整備を進め、その積極的な受発信に努めるなかで、「草津の魅力」と「草津のまちづくり活動」を市内外に広くアピールして、まちづくり市民活動の交流を図っていきます。</p>	<p>新しい住民自治の仕組みである地域づくり組織（まちづくり協議会）の設立に向けた支援を行い、市内11学区・地区で地域づくり組織（まちづくり協議会）が設立された。組織の活動拠点として市民センター（公民館）を位置づけ、防災や福祉、まちづくり講座など、様々な分野において地域独自の取組みを展開していただくよう検討している。</p> <p>平成22年度から、市民まちづくり提案事業を実施しており、市民公益活動団体から課題解決や公共サービスの充実につなげるための企画提案を募集し、市と協働で事業を進めている。事業提案件数および事業化件数の維持が課題である。</p>	90.2%	B	B

No.	分野	基本構想に定める主要な取組み方向	第1期基本計画期間のうち、平成22年度・平成23年度における本市の状況推移、現状、主要な課題等	平成23年度 目標達成度 評価	平成23年度 市民満足度評価 (意識調査結果)	平成23年度 市民重要度評価 (意識調査結果)
21	情報・交流	<p>地域情報誌やコミュニティFMなどを活用して多様な地域情報の共有を図るとともに、広報の充実など、行政情報をこれまで以上に適宜適切に提供できるよう努めます。</p> <p>充実した都市機能を最大限に生かすとともに、都市間・国際間の交流・協力を進めて、本市に様々な人と文化の出会いとふれあいを導いていきます。</p> <p>“若い力”が地域社会のなかで活躍し、新たなまちづくりの動きをつくる原動力となっていけるよう、大学等との連携による仕組みづくりを充実させていきます。</p>	<p>地域ポータルサイトの新設やリニューアルを行い、市政情報等を迅速に発信することができた。また、これらの周知啓発等を行うことでアクセス数の増加が図れた。</p> <p>既存の媒体以外の新たな媒体による情報提供について検討する必要がある。</p> <p>平成27年度に立命館大学の経営学部等がBKCキャンパスから茨木キャンパスに移転する予定であり、大学と地域との連携のあり方についてのビジョンが求められる。</p>	<p>90.3%</p> <p>-----</p> <p>A ⇨</p>	B ⇨	B ⇨

行財政マネジメント			平均目標達成度：87.9%	評価：A ⇨		
			市民満足度：C ⇨	市民重要度：A ⇨		
No.	分野	基本構想に定める主要な取組み方向	第1期基本計画期間のうち、平成22年度・平成23年度における本市の状況推移、現状、主要な課題等	平成23年度 目標達成度 評価	平成23年度 市民満足度評価 (意識調査結果)	平成23年度 市民重要度評価 (意識調査結果)
22	行財政マネジメント	<p>行政サービスのさらなる効率性と質の確保のため、行政自らの意識改革や行政システムの改革を進めるとともに、広域連携のさらなる推進を図ります。</p>	<p>平成24年4月から施行した草津市自治体基本条例により、より一層、情報の適正な管理・公開等、行政の透明性の向上と公正の確保が求められる。</p> <p>第2次草津市行政システム改革の推進に向けた取組みを進めている。今後の行財政や自治の仕組みづくりを市民との合意を図りながら取り組んでいく必要がある。</p> <p>平成26年度をピークとする職員の大量退職時代を控え、技術・ノウハウの確実な伝承や組織体制を確立する必要がある。</p> <p>市民意識調査結果では、平成22年度・平成23年度結果ともに重要度は高いものの、満足度が低い状況となっていることから、さらなる取組みの推進や情報提供の促進を図る必要があると考えられる。</p>	<p>87.9%</p> <p>-----</p> <p>A ⇨</p>	C ⇨	A ⇨

# 【参考資料】



## H22年度～H23年度 目標達成度の推移

		H22	評価	H23	評価	変化
全体平均		84.0%	A	86.2%	A	2.3%
「人」が輝くまちへ		88.3%	A	89.5%	A	1.1%
人権		82.3%	A	89.6%	A	7.3%
	1 人権文化の醸成	85.0%		99.2%		14.2%
	2 人権の擁護	79.5%		79.9%		0.4%
男女共同参画		76.0%	A	94.0%	A	18.0%
	3 男女共同参画社会の構築	76.0%		94.0%		18.0%
教育・青少年		80.8%	A	79.9%	A	-0.8%
	4 学校教育の充実	78.3%		83.7%		5.4%
	5 学校施設の整備	93.9%		100.0%		6.1%
	6 青少年の健全育成	70.1%		56.1%		-14.0%
生涯学習・スポーツ		94.3%	A	90.2%	A	-4.1%
	7 生涯学習施設の整備・充実とネ	100.0%		82.5%		-17.5%
	8 生涯学習活動の振興	98.9%		100.0%		1.1%
	9 地域学習社会の形成	78.2%		78.2%		0.0%
	10 市民スポーツの振興	100.0%		100.0%		0.0%
市民文化		100.0%	A	100.0%	A	0.0%
	11 市民文化の醸成	100.0%		100.0%		0.0%
	12 歴史資産の保全と活用	100.0%		100.0%		0.0%
「安心」が得られるまちへ		73.9%	B	74.5%	B	0.6%
子ども・子育て		60.8%	B	65.6%	B	4.8%
	13 母子保健等の充実	100.0%		100.0%		0.0%
	14 就学前教育・保育の充実	0.0%		0.0%		0.0%
	15 放課後児童対策の充実	89.7%		95.9%		6.2%
	16 地域ぐるみの子ども・子育て支援	53.4%		66.3%		12.9%
長寿・生きがい		96.7%	A	100.0%	A	3.4%
	17 いきいきとした高齢社会の実現	93.3%		100.0%		6.7%
	18 あんしんできる高齢期の生活支	100.0%		100.0%		0.0%
障害福祉		43.8%	C	39.3%	C	-4.5%
	19 障害のある人の生活支援	0.0%		0.0%		0.0%
	20 障害のある人の社会参加の促進	87.5%		78.6%		-8.9%
地域福祉		59.8%	B	79.6%	A	19.8%
	21 「地域力」のあるまちづくり	59.8%		79.6%		19.8%
健康・保険		72.8%	B	74.1%	B	1.4%
	22 市民の健康づくり	100.0%		100.0%		0.0%
	23 医療保険制度の適正運用	45.5%		48.2%		2.7%
生活安心		98.6%	A	86.8%	A	-11.8%
	24 生活安定への支援	100.0%		70.0%		-30.0%
	25 暮らしの安心の確保	95.8%		90.3%		-5.5%
	26 火葬場・墓地の適正管理と公衆	100.0%		100.0%		0.0%
防犯・防災		77.2%	A	79.3%	A	2.1%
	27 災害に強いまちづくり	90.2%		89.3%		-0.9%
	28 犯罪のないまちづくり	47.2%		54.1%		6.9%
	29 治水対策	94.1%		94.5%		0.4%

H22 評価 H23 評価 変化

「心地よさ」が感じられるまちへ 91.7% A 94.3% A 2.6%

うるおい・景観		100.0% A	100.0% A	0.0%
30	やすらぎ・憩いの環境づくり	100.0%	100.0%	0.0%
31	良好な景観の保全と創出	100.0%	100.0%	0.0%

環境		85.5% A	87.8% A	2.3%
32	自然とともに生活する環境づくり	88.2%	94.1%	5.9%
33	環境学習の充実	96.7%	91.8%	-4.9%
34	地球温暖化対策への貢献	82.6%	83.6%	1.0%
35	資源循環型社会の構築と廃棄物	72.4%	81.8%	9.4%
36	環境汚染・公害への適切な対策	87.5%	87.5%	0.0%

住宅・住生活		92.2% A	100.0% A	7.9%
37	住まいと住生活の魅力向上	93.4%	100.0%	6.6%
38	“まちなか”の魅力向上	90.9%	100.0%	9.1%

上下水道		93.8% A	100.0% A	6.3%
39	水の安定供給	87.5%	100.0%	12.5%
40	汚水の適正処理	100.0%	100.0%	0.0%

道路・交通		94.8% A	93.8% A	-1.0%
41	安全で快適な道路づくり	100.0%	100.0%	0.0%
42	公共交通体系の充実	85.1%	81.3%	-3.8%
43	バリアのないまちづくり	99.2%	100.0%	0.8%

「活気」があふれるまちへ 85.1% A 89.9% A 4.8%

農林水産		92.2% A	90.6% A	-1.6%
44	農業の振興	84.3%	85.9%	1.6%
45	水産業等の振興	100.0%	95.3%	-4.7%

商工観光		77.6% A	88.9% A	11.3%
46	工業の振興	52.4%	85.7%	33.3%
47	商業の振興	100.0%	100.0%	0.0%
48	観光の振興	85.7%	82.4%	-3.3%
49	勤労者福祉の増進	72.4%	87.6%	15.2%

コミュニティ・市民自治		87.4% A	90.2% A	2.9%
50	地域コミュニティ活動の活性化	74.0%	80.7%	6.7%
51	市民活動の活性化	88.1%	90.0%	1.9%
52	市民主体のまちづくりを支援する	100.0%	100.0%	0.0%

情報・交流		88.0% A	90.3% A	2.3%
53	まちづくり情報の提供の充実	90.0%	100.0%	10.0%
54	多様な交流活動の展開	100.0%	100.0%	0.0%
55	大学などを生かしたまちづくりの	74.0%	71.0%	-3.0%

行財政マネジメント 82.4% A 87.9% A 5.5%

行財政マネジメント		82.4% A	87.9% A	5.5%
56	市民から信頼される市政運営	64.7%	75.7%	11.0%
57	行財政資源の有効活用	100.0%	100.0%	0.0%



H22年度～H23年度 市民意識調査(満足度・重要度)の推移

全体比較データ		H22年度		H23年度		H22年度		H23年度		重要度比較	
		満足度	満足度評価	満足度	満足度評価	満足度比較	重要度	重要度評価	重要度		重要度評価
	総平均	0.10	B	0.09	B	-0.01	0.86	B	0.87	B	0.01

基本方向別比較データ		H22年度		H23年度		H22年度		H23年度		重要度比較	
		満足度	満足度評価	満足度	満足度評価	満足度比較	重要度	重要度評価	重要度		重要度評価
	まちづくりの基本方向										
1	「人」が輝くまちへ	0.16	B	0.17	B	0.01	0.73	B	0.74	B	0.00
2	「安心」が得られるまちへ	0.04	B	0.02	B	-0.01	1.03	A	1.04	A	0.01
3	「心地よさ」が感じられるまちへ	0.17	B	0.15	B	-0.03	0.90	B	0.91	B	0.01
4	「活気」があふれるまちへ	0.08	B	0.06	B	-0.01	0.65	B	0.65	B	-0.00
5	行財政マネジメント	-0.05	C	-0.08	C	-0.03	1.18	A	1.22	A	0.05

分野別比較データ		H22年度		H23年度		H22年度		H23年度		重要度比較	
	分野名	満足度	満足度評価	満足度	満足度評価	満足度比較	重要度	重要度評価	重要度		重要度評価
1	人権	0.27	B	0.29	B	0.02	0.57	B	0.56	B	-0.01
2	男女共同参画	0.21	B	0.18	B	-0.03	0.59	B	0.65	B	0.06
3	教育・青少年	0.10	B	0.14	B	0.03	1.14	A	1.13	A	-0.01
4	生涯学習・スポーツ	0.13	B	0.14	B	0.01	0.61	B	0.60	B	-0.01
5	市民文化	0.19	B	0.19	B	-0.00	0.62	B	0.63	B	0.01
6	子ども・子育て	0.06	B	0.03	B	-0.04	1.03	A	1.06	A	0.03
7	長寿・生きがい	-0.03	C	-0.02	C	0.01	1.13	A	1.11	A	-0.02
8	障害福祉	-0.03	C	-0.04	C	-0.01	1.05	A	1.01	A	-0.04
9	地域福祉	0.05	B	0.03	B	-0.02	0.80	B	0.82	B	0.02
10	健康・保険	0.12	B	0.14	B	0.02	1.00	A	1.02	A	0.02
11	生活安心	0.03	B	0.03	B	0.01	0.92	B	0.91	B	-0.01
12	防災・防災	0.05	B	0.01	B	-0.04	1.15	A	1.19	A	0.03
13	うるおい・景観	0.16	B	0.15	B	-0.01	0.82	B	0.81	B	-0.01
14	環境	0.12	B	0.12	B	-0.00	0.86	B	0.87	B	0.01
15	住宅・住生活	0.09	B	0.09	B	-0.01	0.76	B	0.92	B	0.16
16	上下水道	0.63	B	0.63	B	-0.00	1.09	A	1.08	A	-0.01
17	道路・交通	0.01	B	-0.10	C	-0.11	1.02	A	1.03	A	0.02
18	農林水産	0.04	B	0.01	B	-0.03	0.66	B	0.60	B	-0.05
19	商工観光	0.04	B	0.03	B	-0.01	0.74	B	0.77	B	0.03
20	コミュニティ・市民自治	0.11	B	0.10	B	-0.01	0.58	B	0.56	B	-0.02
21	情報・交流	0.12	B	0.12	B	-0.01	0.60	B	0.60	B	0.00
22	行財政マネジメント	-0.05	C	-0.08	C	-0.03	1.18	A	1.22	A	0.05

基本方針別比較データ		H22年度		H23年度		H22年度		H23年度		重要度比較	
	基本方針名	満足度	満足度評価	満足度	満足度評価	満足度比較	重要度	重要度評価	重要度		重要度評価
1	人権文化の醸成	0.27	B	0.29	B	0.02	0.55	B	0.54	B	-0.01
2	人権の擁護	0.27	B	0.28	B	0.01	0.58	B	0.57	B	-0.01
3	男女共同参画社会の構築	0.21	B	0.18	B	-0.03	0.59	B	0.65	B	0.06
4	学校教育の充実	0.12	B	0.13	B	0.00	1.25	A	1.27	A	0.02
5	学校施設の整備	0.14	B	0.20	B	0.06	1.13	A	1.08	A	-0.05
6	青少年の健全育成	0.04	B	0.08	B	0.04	1.04	A	1.05	A	0.01
7	生涯学習施設の整備・充実とネットワーク化	0.08	B	0.10	B	0.02	0.66	B	0.67	B	0.01
8	生涯学習活動の振興	0.11	B	0.12	B	0.02	0.65	B	0.63	B	-0.02
9	地域学習社会の形成	0.09	B	0.10	B	0.01	0.59	B	0.56	B	-0.02
10	市民スポーツの振興	0.22	B	0.21	B	-0.01	0.54	B	0.54	B	0.00
11	市民文化の醸成	0.13	B	0.14	B	0.01	0.54	B	0.52	B	-0.02
12	歴史資産の保全と活用	0.25	B	0.24	B	-0.01	0.70	B	0.73	B	0.03
13	母子保健等の充実	0.18	B	0.15	B	-0.03	1.00	B	1.05	A	0.05
14	就学前教育・保育の充実	0.01	B	-0.03	C	-0.04	1.11	A	1.13	A	0.02
15	放課後児童対策の充実	0.03	B	-0.02	C	-0.05	0.95	B	0.99	B	0.04
16	地域ぐるみの子ども・子育て支援	0.04	B	0.00	B	-0.04	1.05	A	1.07	A	0.02
17	いきいきとした高齢社会の実現	0.03	B	0.05	B	0.02	1.07	A	1.04	A	-0.02
18	あんしんできる高齢期の生活への支援	-0.08	C	-0.09	C	-0.01	1.19	A	1.18	A	-0.01
19	障害のある人の生活支援	-0.01	C	-0.03	C	-0.02	1.09	A	1.05	A	-0.04
20	障害のある人の社会参加の促進	-0.04	C	-0.05	C	-0.00	1.01	A	0.97	B	-0.04
21	「地域力」のあるまちづくり	0.05	B	0.03	B	-0.02	0.80	B	0.82	B	0.02
22	市民の健康づくり	0.19	B	0.21	B	0.02	0.90	B	0.93	B	0.03
23	医療保険制度等の適正運用	0.04	B	0.06	B	0.02	1.11	A	1.12	A	0.01
24	生活安定への支援	-0.04	C	-0.05	C	-0.01	0.95	B	0.92	B	-0.04
25	暮らしの安心の確保	0.01	B	0.05	B	0.04	1.08	A	1.12	A	0.03
26	火葬場・墓地の適正管理と公衆衛生の向上	0.11	B	0.10	B	-0.01	0.72	B	0.71	B	-0.01
27	災害に強いまちづくり	0.05	B	0.01	B	-0.04	1.21	A	1.24	A	0.03
28	犯罪のないまちづくり	-0.09	C	-0.16	C	-0.07	1.36	A	1.38	A	0.02
29	治水対策	0.19	B	0.18	B	-0.01	0.89	B	0.93	B	0.04
30	やすらぎ・憩いの環境づくり	0.17	B	0.17	B	0.00	0.86	B	0.84	B	-0.02
31	良好な景観の保全と創出	0.15	B	0.13	B	-0.01	0.78	B	0.77	B	-0.01
32	自然とともに生活する環境づくり	0.17	B	0.15	B	-0.02	0.83	B	0.84	B	0.01
33	環境学習の充実	0.16	B	0.12	B	-0.04	0.62	B	0.60	B	-0.02
34	地球温暖化対策への貢献	0.03	B	0.03	B	0.00	0.85	B	0.87	B	0.01
35	資源循環型社会の構築と廃棄物の適正処理	0.16	B	0.18	B	0.03	0.98	B	1.00	A	0.02
36	環境汚染・公害への適切な対策	0.10	B	0.12	B	0.02	1.00	B	1.04	A	0.04
37	住まいと住生活の魅力向上	0.11	B	0.14	B	0.03	0.80	B	0.78	B	-0.02
38	“まちなか”の魅力向上	0.08	B	0.03	B	-0.05	0.72	B	0.74	B	0.03
39	水の安定供給	0.73	B	0.73	B	-0.01	1.11	A	1.11	A	-0.01
40	汚水の適正処理	0.53	B	0.53	B	0.00	1.06	A	1.05	A	-0.01
41	安全で快適な道路づくり	0.04	B	-0.03	C	-0.08	1.12	A	1.16	A	0.03
42	公共交通体系の充実	0.03	B	-0.13	C	-0.16	1.03	A	1.01	A	-0.02
43	バリアのないまちづくり	-0.05	C	-0.14	C	-0.09	0.89	B	0.92	B	0.04
44	農業の振興	0.04	B	0.01	B	-0.03	0.75	B	0.70	B	-0.05
45	水産業等の振興	0.03	B	0.01	B	-0.03	0.56	B	0.51	B	-0.06
46	工業の振興	0.11	B	0.11	B	0.00	0.69	B	0.70	B	0.02
47	商業の振興	0.05	B	0.06	B	0.01	0.80	B	0.84	B	0.04
48	観光の振興	0.00	C	-0.06	C	-0.06	0.77	B	0.79	B	0.02
49	勤労者福祉の増進	0.00	C	0.01	B	0.01	0.70	B	0.73	B	0.03
50	地域コミュニティ活動の活性化	0.14	B	0.10	B	-0.03	0.61	B	0.61	B	0.00
51	市民活動の活性化	0.11	B	0.11	B	-0.00	0.56	B	0.50	B	-0.06
52	市民主体のまちづくりを支援する体制の充実	0.07	B	0.09	B	0.01	0.57	B	0.57	B	-0.01
53	まちづくり情報の提供の充実	0.07	B	0.07	B	0.00	0.62	B	0.60	B	-0.02
54	多様な交流活動の展開	0.10	B	0.10	B	0.00	0.50	B	0.55	B	0.05
55	大学などを生かしたまちづくりの展開	0.20	B	0.17	B	-0.03	0.69	B	0.66	B	-0.03
56	市民から信頼される市政運営	-0.02	C	-0.03	C	-0.01	1.20	A	1.25	A	0.05
57	市財政資源の有効活用	-0.09	C	-0.14	C	-0.05	1.15	A	1.20	A	0.05